

フードバンクかながわ 通信

「もったいない」を「わかちあい」・「ありがとう」へ



基本情報 2022年度の累計 (2021年度寄贈287ト提供270ト)

寄贈 365.2ト前年同月比127% 提供 367.9ト前年同月比136%

3月

寄贈食品計 40.4ト

企業・生協等	22.9ト
フードドライブ	17.5ト
寄付金購入	0.0ト

提供食品計 453回 39.4ト

行政・社協	79回	6.4ト
地域フードバンク	116回	18.2ト
こども食堂等	211回	12.6ト
施設・福祉・外国 関連	47回	2.2ト

紙幅に限りがあり、
敬称略で報告します。

寄 贈 (入庫)

事業者寄贈の冷凍食品、飲料や
フードドライブ、米一合運動等の
取り組みにより40トを超えた。

○事業者寄贈

マルハニチロ (冷凍食品・総菜)、
山崎製パン (パン)、カルビー(バー
ターチップ) コカ・コーラ (飲料)、
キリン (乳酸菌飲料)、そうてつ
ローゼン (米)、ミツハシライス
(米)、日本食研 (冷凍食品、他)、
セブン&アイ・フードシステム (冷
凍ソース他) カルゲン製菓 (飲料)、
ファンケル (発芽玄米)、東京アラ
イドコーヒー (コーヒー) 日生協、
ユーコープ

○防災備蓄品

JCVケンウッド、横浜ゴム、損保会
館、スタンレー電気、三菱 UFJ信託
銀行、横浜市水道局、横浜市総務局

○フードドライブ

イトーヨーカドー (26店舗)、無印
良品 (39店舗)、そうてつローゼン、
イオン、横浜銀行、三菱UFJ信託銀
行、明治安田生命、神奈川トヨタ、
損保ジャパン、マクニカ、丸全昭和
運輸、大塚商会、スズキ自販湘、東
急モータース、ロップメント、横浜都市未
来、金泉寺、NTT東日本関東神
奈川事業部、東京商工社、JA横浜磯
子支店、JAさがみ、横須賀市、栄区
役所、緑区役所、瀬谷西高等学校、
淵野辺小学校、能見台南小学校、住
友重機労組、アンリツ電機労組、
FCNT労組、横浜労福協、川崎労福
協、西湘労福協、湘南労福協、相模
原労福協、三浦半島労福協、ユー
コープ、生活クラブ、福祉クラブ他

○米一合運動/プロジェクト

JP労組、JAM神奈川、ユーコープ横
浜エリア会、綾瀬市社協

提 供 (出庫)

出庫39.4トは前年比125%。物価
高の影響が続く、出庫は前年を
上回る状況が続いている。

○行政・社協・委託 28団体

横浜市・区社協、横浜ひとり親支援
(横浜市母子寡婦福祉会)、川崎市、
相模原市、横須賀市、鎌倉市、厚木
市、海老名市、茅ヶ崎市、小田原市、
葉山町、川崎市社協、藤沢市社協、
平塚市社協、綾瀬市社協、二宮町社
協、他

○地域のフードバンク 42団体
ワンエイド、神奈川フードバンク・プラス、
たすけあい、ユナイテッド神奈川、
くろーばーマーケット、カナン・
キリスト教会、お福わけの会、報
徳食品支援センター、食支援ネッ
トかながわ、川崎医療協、さろ
んどて、女性による女性のための
相談会、ピーパーリンク、FBふじ
さわ、FB浜っ子南、FB横浜、他

○こども食堂居場所等 103団体
ひまわり、キッズカフェ杉田、
COCOLOの会、満福うえのまち食
堂、サードプレイス、しあわせ配
達便、となりのれすとらん、南湖
子ども食堂波、にのみやこども食
堂便、ドリームセンター子どもカ
フェ、たいしょう食堂、フリース
ペースたまりば、ふれあいっこ三
ツ沢、宮ノマエストロ、なかよし
大船こども食堂、ぱくぱく食堂、
六浦東・まち交流ステーション委
員会、満福うえのまち食堂、他

○福祉・病院・外国関係 27団体
スマイルオブキッズ (リラの家)、
DV対策センター、カラー、ブラ
ジルsolidario、ラフェリーチェ、
自立援助ホーム湘南つばさの家、
さざなみ、たすけあいゆい、他

合意書締結団体

寄贈締結団体	266団体
提供締結団体	326団体
行政・社協	61団体
市民団体	265団体
(子ども食堂・居場所・施設・ 福祉関係)	
フードドライブ回収拠点	344か所

賛助会員寄付状況

団体会員	217団体 693口 693万円
個人会員	308人 1736口 1,736,000円
寄付	
2022年度	22,166,694円
累計	76,174,557円

2022年度食品ロス削減コースターデザインコンテスト 最優秀作品・優秀作品が決定しました

小学生の部には小学校、学童保育、保育園から問い合わせもあり、お
おぜいのお子さんにご参加いただき、ありがとうございました。作品作
りを通して食べ物に感謝し、大切にしたい思いの共有につながりました。



応募総数 288 点

♥ 食品を利用された方々からの「ありがとうの声」をご紹介します ♥

- 物価高騰で食品の値上がりがある中で、弁当をもらえたり、食品セットをもらえるのは本当に助かります。
- このような活動は家計に安心をくれるので、子どもに対してもゆとりをもって接することができるようになりました。
- ここに来れば、食品がもらえるという安心の場所になっています。経済的に母子家庭なのですが、とてもフードバンクさんからの寄付品に助けられています。

(食支援を行う団体を通じて利用者様からの声をお届けしています)

- いろいろな食品が値上げされたいへんなのでとても助かります。ありがとうございます。
- このサポートのおかげで私たち家族は生きていくことができます。いつかこのサポートに恩返しできるように頑張ります。

3月のフードバンク

ボランティア募集

3月は企業・団体様、個人の方から日々たくさんのご寄贈を頂き、同じく大量の食品を行政・社協・市民団体等食支援を行う皆様に提供しました。昨年来の物価高騰の影響が家計を圧迫している状況は食品を利用される方々からの「ありがとうの声」の中からも伺えます。支援策が検討されてはいますが、一方で地域での食支援活動もまた求められています。

2022年度もフードバンクかながわはおおぜいの皆様からの共感と温かいお気持ちに支えられて無事活動を終えることができました。ご寄付を頂いた企業・団体・個人の皆様、ボランティアとして活動を支えてくれた皆様、地域で食支援に取り組む皆様、フードバンク活動について社会に発信していただいた皆様、ありがとうございました。新年度もまた一緒に「もったいないをわかちあい・ありがとうへ」を広げていきましょう。



フードバンクかながわ
ホームページ



マルハニチロ様より冷凍鶏ももから揚げのご寄贈



カルビー様よりハニーバターチップのご寄贈
46,000袋 4トトラック 5台分



キンピバレッジ様より朝の免疫ケアご寄贈



JAよこすか葉山様よりレトルト食品のご寄贈



労働者福祉基金贈呈式



わーくはびねす農園Plus横浜様で栽培されたサニーレタス



アンリツ労組様より防災備蓄品のご寄贈



連合神奈川様よりフードドライブ品のご寄贈



横浜YMCAと連携してウクライナから避難された方へ食品を提供しました
(写真:上・下)



三浦半島労協様米一合運動



NEXCO東日本高速鉄道様が運営される農園よりフリルレタスのご寄贈



横浜市水道局様より災害備蓄品のご寄贈



JAM神奈川様米一合運動



トヨタモビリティ神奈川様より備蓄品ご寄贈



スズキ自販湘南様



相模原市立田名小学校米一合寄付活動



NTTドコモ様ボランティアの皆様



女性のための女性による相談会の皆様



住友重機労組様ボランティアの皆様



能見台南小学校(横浜市)6年2組の皆さんによるフードドライブ



福祉クラブ生協フードドライブ品



JAさがみ様フードドライブ

食支援活動をステップアップする情報交換会 開催報告 ー冷凍食品のロスを食品支援に活用するー

2023年3月2日(木) オンライン開催

ロスの発生が見えにくい冷凍食品にスポットを当て、企業でのロス発生理由、フードバンクでの課題、冷凍食品を希望する利用者の声を共有しました。

マルハニチロ(株)志村夏サスティナビリティ推進部グループ主任からは企業の食品ロスについて輸送時に発生する外装の破損、輸入時の抜き取り検査による箱開封(抜き取った後の端数は商品にはならない)などで、まだ食べられるにも関わらず販売できない商品がフードロスとして廃棄される現状をご報告いただきました。

これに対し、全国フードバンク推進協議会米山廣明代表理事からは、「コロナ禍・諸物価高騰の影響で、支援要請数と対象が拡大する一方で、3割のフードバンクで寄付量・寄付金が減っている。冷凍食品については受け入れ側のフードバンクの配送能力の強化、冷凍食品の取扱に関する知識・情報・ノウハウなどを確立することにより、企業の信頼を得て寄贈を増やし、最終受益者への提供を安全にスムーズに行う必要がある」と提言頂きました。



県内の中核的フードバンクNPO法人報徳食品支援センター本岡俊郎理事長とフードバンクかながわ藤田誠事務局長から県内フードバンクの冷凍食品の取り組みを報告しました。最後に利用団体から現場の声と工夫を報告して頂きました。

65人の参加があり、登壇者からのたいへん貴重な情報を共有できました。今後も冷凍食品寄贈企業の協力を広げてフードロス削減と有効活用に取り組み、支援を必要とする人々へのニーズに対応すべく食支援の幅を広げていきたいと考えます。



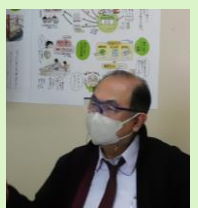
NPO法人フードバンク浜っ子南
下山洋子理事長

温度管理等の取扱の工夫とパントリー参加者アンケートから冷凍食品のニーズの高さを紹介いただきました。



金沢子ども食堂すくすく
加々美マリ子理事長

一人親世帯への食支援活動の中で、「冷凍食品を受け取った瞬間、お母さんの表情が変わります」とお話しされました。



横須賀市民生局
北見万幸福祉専門官

2022年度よりフードバンクかながわ無償提供の冷凍庫で冷凍食品を扱い、食支援の現場が一層安定しました。